



# 産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

## 株式会社ダイセキ

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、平成30年4月発行「循環あいち107号」安全衛生情報で紹介のありました「株式会社ダイセキ」です。

昭和20年三重県三重郡にて伊藤治雄氏が「油脂精製業」を創業、以来75年の歴史を誇る。現在では全国6か所の事業所と6関連会社のネットワークで総合的なサービス（産業廃棄物収集運搬業、処分業含む。）を提供しています。

「限られた資源を活かして使う」を理念に掲げ、持続可能な社会の発展に貢献される同社事業統括本部環境安全部長代理 鳥居圭一氏、主任 山田拓也氏に前回掲載後の2年間に取組まれた社内の安全衛生についてお話を伺いました。

### - この2年間の取組み事例 -

#### ◆安全大会

代表取締役の柱秀貴氏が大会参加者に向けて、安全衛生を意識して日々の業務を行うことが、いかに重要であるかについて話をされました。

・乗務員の無事故表彰

表彰者 - 安田修二氏

（コメント・写真は次ページ掲載）

#### ◆安全パトロール

・1回／月 実施

安全パトロールを毎月実施することにより、現場の危険箇所を確認し、早めの対策を講ずることができます。

#### ◆手順書の改訂

きっかけは過去事例を元に、業務作業の一連の手順書を見直し、原因の究明を行ったところ文字が多く読みにくいのではないか、という観点から改訂作業に至りました。

・事例としてお客様先での出来事を文章で書き出す。

→その場面を画像で明示

（現場の状況が理解できる写真、イラスト）

→原因が一目瞭然となるようなレイアウト

→常に見直し、最新状況を反映

→社員全員に配布

#### ◆転落防止 - 1

・工場内親綱を設置 - 2か所



左から 鳥居部長代理、山田主任

搬入された廃棄物を車両から搬出する際、車両上にて作業を行う為、転落防止の親綱が設置されています。

#### ◆転落防止 - 2

・フルハーネス型墜落制止用器具特別教育を実施

昨年法改正により、6.75m以上の作業には、フルハーネス型墜落制止用器具の使用が義務付けられました。

お客様構内の作業において、フルハーネス型墜落制止用器具での作業を指示される場合もあるため、同社乗務員や営業担当者に講習を実施し転落防止対策を講じています。

一度に多数の特別教育を行うため、外部から講師を招いて実施しています。

#### ◆新装置の設置（工場内）

・セーフティマップの掲示

工場入口にセーフティマップが数年前より掲示され、工場内の緊急通報ができる場所、AED、消火栓、消火器、ガス警報検査器、

防毒マスク、担架、空気呼吸器等の設置箇所が誰でも分かるように、色分けして大きく表示されています。

・洗眼器－6か所

作業中に目に異物が入ってしまった場合、すぐに洗い流せるよう工場内に設置

・緊急シャワー－2か所

作業中に危険物が体にかかってしまった場合、すぐに洗い流せるよう工場内に設置

## ◆講習会

- ・体感講習会－昨年外部機関を利用して生産、生産技術課員を対象に実施
- ・職長教育－昨年から生産現場のリーダーが順次受講

## ◆新型コロナウイルス対策（2020年4月1日付）

世界的な問題でもあり、日々情報が更新されておりますが、同社は、毎朝検温の実施、職場の定期的な強制換気、来訪者への注意喚起等の実施を徹底しています。

## －振り返りとこれから

環境安全部の鳥居部長代理、山田主任からはこの2年間の取り組みについて、会社のトップの方々が各取り組みに積極的に参加されることにより、社員の安全衛生への士気向上へとつながったのではないかと感じる、とのことでした。

乗務員から社外での作業に関するヒヤリハットの提案が出た場合（弊社だけでの対策が困難なとき）は、営業を通じてお客様と相談の上、作業の安全を確保する取り組みを今後も努めて参ります。



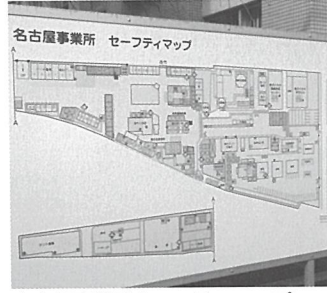
令和2年安全大会



令和2年安全大会での無事故表彰



月次の安全パトロール



名古屋事業所セーフティマップ



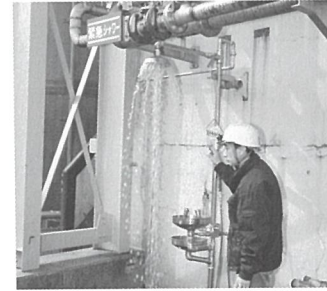
車両上で作業するための親綱設置



フルハーネス型墜落制止用具講習会  
(令和2年)



工場内の洗眼器



工場内の緊急シャワー

## 安全大会・表彰者の方のメッセージ

安田修二氏（勤続22年）

### －受賞について

常に安全を心がけた結果が評価を受け感慨無量であると同時に、一年間無事故であったことに安堵しています。



安田修二氏

### －日々何を心がけていますか。

その日の訪問先までのルートを確認して頭の中に入れて、どの場所に危険が潜んでいるのかを予測します。また、道路の渋滞情報を確認し、訪問時間に遅刻しないようゆとりある運転を心がけています。各手順書は覚えてしまっていますが、再確認を怠りません。

### －他のドライバーさんへ一言お願いします。

危険物を運んでいるので、運転をする上で細心の注意を払い、思いやりのある運転と譲り合うという気持ちでハンドルを握れば、安全運転につながるのではないかと思います。

特にお客様先から無事に帰社できたときは達成感を感じます。

毎日無事に帰ってくるということを、当たり前の日常にするためにも、常に安全への意識と責任ある行動をとり続けることが、我が身を守る最大の知恵ではないかと思います。